

G.G.ごうしん 2月号 Vol.81

災害廃棄物支援派遣に環境大臣から表彰



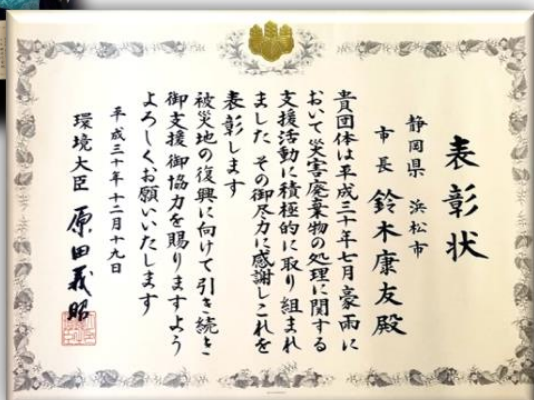
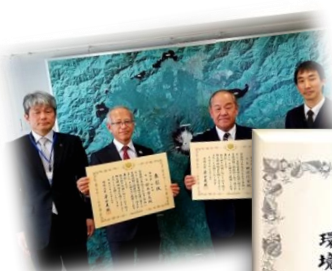
平成30年7月豪雨によって、広島県は大きな被害を受け、多くの災害廃棄物が発生しました。

浜松市では、平成30年8月8日～9月6日のおよそ1ヶ月間にわたって、広島県安芸郡坂町へ、災害廃棄物の収集支援等を目的に、延べ職員26人と収集支援車両2台の派遣を実施しました。



支援に行った職員は、現地での活動について「真夏であったため、酷暑の中、時には同じく支援に駆け付けていた名古屋市や静岡市と協力しながら、熱中症に気を付けて取り組んだ。」と振り返りました。また、「災害時はお互い様なので、浜松市として少しでも坂町の復旧・復興に役立てれば嬉しい。」との声がありました。

～環境大臣表彰～



本市のほかに、静岡市など、全国116の自治体と18の団体が災害廃棄物の関係で表彰されました。

近年、自然災害が頻発していますが、自治体や業界団体等全国で支援の動きも広まっています！

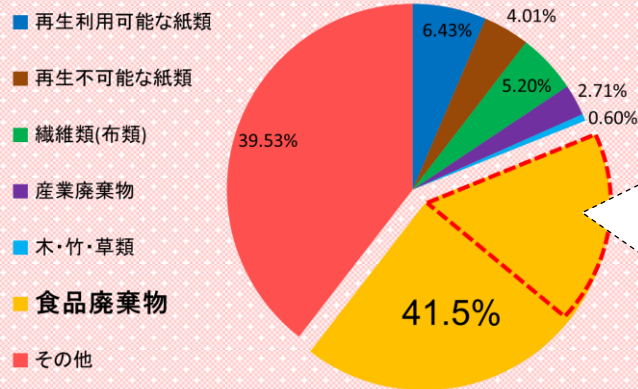
事業系ごみにおける食品ロス削減について

本市の事業所における「食品ロス」の現状

本年度実施した、事業所から出たごみ（以下事業系ごみ）の組成分析調査の結果では、全体の約41.5%が食品廃棄物でした。また、食品廃棄物のうち、まだ食べられるの廃棄された「食品ロス」の割合は、全体の17%となっています。

また、市内の清掃工場へ搬入されたごみの中身を検査した際、手の付けない弁当や食品の食べ残しが多く見受けられる状況となっています。

事業系ごみ組成分析調査



食品廃棄物のうち、期限切れや食べ残し等食品ロスにあたるものの割合（全体の約17%）

※平成30年浜松市事業系一般廃棄物組成分析調査より

食品ロス削減協力店

こうした現状から、市内で発生する食品ロスを削減するため、本年度より「ごみ減量天下取り大作戦」の一つとして「モッタイナイ作戦」を実施しています。

事業所から出る「食品ロス」を減らすために、市内の食品提供事業者様向けに「食品ロス削減協力店」を募集し、官民協働で食品ロス削減のための普及啓発事業を展開しています。平成31年2月1日現在、**160店舗**の事業所にご賛同いただいています。

「食品ロス削減協力店」へのお願いは、以下の通りとなっています。

- ・「ごみ減量天下取り大作戦」のポスターの掲出
- ・食品ロス削減に関する啓発物品（卓上のミニのぼり旗、店舗貼付用ステッカー）の掲出

☆登録いただいた事業者様は、市のホームページ等で、食品ロス削減協力店として紹介しています！



★引き続き食品ロス削減協力店を募集しています！

食品ロス削減は、事業経費のごみ処理コスト削減にもつながる取組です。

賛同していただける事業者様は、登録連絡票に記載の上、下記連絡先にご提出をお願いいたします（郵送、FAX、メール可）。 ※登録連絡票は上記QRコードからご確認ください。

【お問い合わせ先】

浜松市 環境部 ごみ減量推進課指導許可グループ
〒432-8023 浜松市中区鴨江三丁目1-10
TEL 053-453-6229/FAX 050-3737-2282
Email gomigen@city.hamamatsu.shizuoka.jp



平成29年度 ごみ処理経費をお知らせします



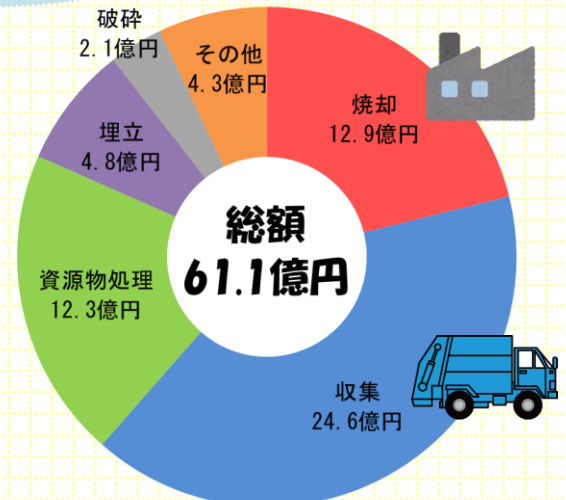
どんなことにお金がかかっているのだろう？

このグラフを見ると「焼却」と「収集」で、全体の約60%を占めています。

「焼却」は、焼却施設（南部清掃工場、西部清掃工場）の維持管理や運営など「もえるごみ」を焼却する経費のことです。

「収集」は、集積所からごみ処理施設までの収集・運搬にかかる経費のことです。

平成29年度は南部清掃工場のトラブルで、静岡市へ搬出したこともあり、例年よりも収集の経費の割合が増大しました。



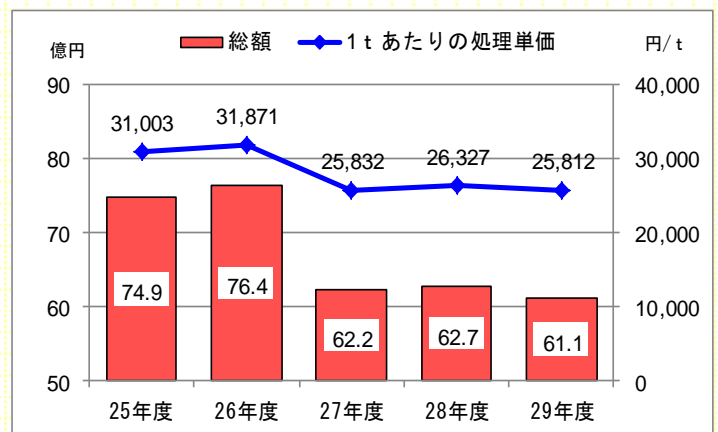
項目ごと四捨五入しているため合計とは差があります。

H29年度ごみ処理経費 総額61億1千万円！！

平成29年度は、総額61.1億円となり、前年度から約1.6億円の減少となりました。これは北部清掃工場の解体に係る減価償却が終了したことによるものです。

What's 減価償却？

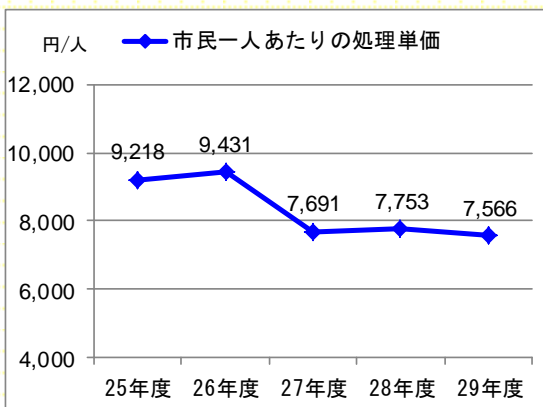
減価償却とは、建物や機械、備品など、長く使用するものについて単年の費用で考えるのではなく、耐用年数を考慮して費用配分する会計上の考え方のことです。



市民一人あたりにすると...

1年間の処理単価

7,566円



※平成29年10月1日時点住基人口で算出

1月あたり、約631円
1日あたり、約21円

4人家族で換算すると、皆さまから預かっている税金を年間約3万円使っていることとなります。

市全体で考えると、61億1千万円と非常に多くの税金が必要になっていることが分かります。

ごみ処理経費を削減することができれば、将来的に教育・福祉・インフラ整備などの部門に充てることができます。

「みんなでやろう！ごみ減量」を合言葉にごみ減量に取り組みましょう☆

ごみ減量天下取り大作戦 ～多文化共生編～

在浜松ブラジル総領事館へ協力をお願いしました！



浜松市は、一人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量が最も少ない政令指定都市を目指して「ごみ減量天下取り大作戦」を展開し、市民の皆さまに「生ごみの水切り ひとしぼり」「雑がみの分別」「食品の食べキリ 使いキリ」を呼びかけています。

このたび、市職員が在浜松ブラジル総領事館を訪問して、ごみ減量天下取り大作戦などへの協力をお願いしました。

在浜松ブラジル総領事館は市内唯一の領事館であり、年間 8,000 名の方が来館されます。対応していただいたボンフィン ファン オリヴェイラ領事からは、「(ごみ減量天下取り大作戦について) 素晴らしい取組である。領事館として協力していきたい」との言葉をいただきました。

ごみ減量日本一を達成するため、総領事館とも連携して、ブラジル国籍の方への協力を呼びかけてまいります。



ごみ減量天下取り大作戦について説明



やらまいか！水切りプレスの使用方法を説明

■平成30年11月分の家庭系ごみ排出量をお知らせします

平成30年11月の浜松市一人1日あたりごみ排出量 **502g**

目標350グラム!

■各区一人1日あたりのごみ排出量（平成30年11月）



目標350g
まであと

全区	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
502g	485g	519g	503g	521g	469g	493g	480g
152g	135g	169g	153g	171g	119g	143g	130g